

サイエンスチャレンジに出場

11月20日(土)に「サイエンスチャレンジ岡山2021」が岡山大学で開催され、本校からは理数科2年生のチーム(8名)とサイエンス部のチーム(8名)の2チーム(計16名)が出場しました。

サイエンスチャレンジには筆記競技と3つ(物理・化学, 生物・地学, 工学)の実技競技があります。今年度の実技競技は下記の内容でした。

【実技競技①: 物理・化学分野】 化学反応を用いてペットボトルからコルク栓を的にに向けて発射

【実技競技②: 生物・地学分野】 フィールドワークと生物・地学に関する問題

【実技競技③: 工 学 分 野】 ペーパーグライダーとペーパータワー

生徒は本番に向け、1ヶ月以上前から準備を重ねており、実技競技①では「的にコルク栓を入れるために発射台の角度をどのようにすれば良いか」や「反応のさせ方」等を、実技競技③では「おもりをたくさん置くことができ、かつ耐久性のあるタワーはどのような形状か」、「目的地にグライダーを滑空させるためにはどのような形状がよいか」等について探究活動を行っていました。

実技競技の練習中には、各々が持っている知識を共有することや、各自の持っている Chromebook でより良い形状にするためのヒントを調べる等、生徒たちが自ら考えを深めようとする姿が多く見受けられました。



11月20日の本番では、生徒たちはこれまでに準備してきたことを存分に発揮して、競技に臨んでいました。結果は惜しくも入賞することはできませんでしたが、生徒たちは各自のベストが尽くせたことに達成感を感じているようでした。また、「今回の競技で学んだことを来年度につなげていきたい」といった感想から、来年度のサイエンスチャレンジに向けた意気込みも感じられました。

